



オープンハウスこんぺいとう

「病児室たより・R8年2月第6号」

新しい年を迎えてもう既に2月。最上地方はまだまだ寒い日が続きます。保育所等では雪遊びを楽しんでいるかと思えます。雪遊びは運動機能が向上し、冷たい空気に触れることで自律神経も鍛えられます。風邪を引かない体を作るためにも、雪遊びを楽しんでみてください。



<冬の感染症対策>

冬に流行する感染症は：インフルエンザ・感染性胃腸炎

・RSウイルス感染症です。冬を元気に過ごすには

○腸内環境を整える食事と適度な運動

○睡眠は睡眠の長さだけでなく「質」にも注目を

○メンタルケア・・・笑って過ごすことで、子どもの気持ちが落ち着きます。

ウイルスなどの目に見えない敵に負けず、元気に過ごせるように手洗い・うがいマスクの着用などの基本的なことを、きちんと行うことが大切です。今後も油断することなく、感染対策を継続していきましょう。



<2月20日はアレルギーの日>

*子どもたちの健康を守るために何ができるのか。

「アトピー性皮膚炎」

かゆみを伴う湿疹が主な症状で、改善と悪化を繰り返します。

「花粉症」

免疫システムの過剰反応によって引き起こされ、目のかゆみ・鼻水・くしゃみといった症状を引き起こします。

「食物アレルギー」

多くの場合、原因となる食品を摂取してから2時間以内に症状が現れます。

「ハウスダスト」

家庭内の埃やダニの糞、死骸などが原因で、くしゃみ・鼻水・咳・かゆみなどの症状が現れます。

*子どもたちのアレルギー対策は医師とともに。

医師の指導の下、薬物療法や商事療法を行うことで、アレルギー反応を抑えられる場合もあります。アレルゲンの特定や除去、生活環境の改善など、家庭でできる対策を取り入れることで、子どもたちの健康を守り、快適な生活を送ることができます。医師に相談しながら、アレルギー対策をしていきましょう。



<病児保育の様子>

12月・1月の利用人数：11名 **病名**：感冒・咽頭炎・インフルエンザ

新規のお友達が利用しています。玄関先で大泣きのHくん徐々に落ち着きグルリと部屋観察。全く物怖じせず、おもちゃで遊び始めるRちゃん。何回か利用しているお友達も、みんな興味を示すのは、ままごとセットです。鼻水を垂らしながら、病児とは思えないほどに元気いっぱいです。探検心も広がりドアを開けては廊下に出たり、お友達のおむつ交換をしているうちに部屋を脱出することもあり、スタッフはオロオロ・ヒヤヒヤ!! おやつにお弁当もしっかり食べて、お昼寝の時間はスタッフがひと息。ふとママを思いだし「ママ」とぐずりながらも、お迎えが来るまで、み～んな頑張りました。



NPO法人

オープンハウスこんぺいとう

病児保育室

利用時間 8:30~17:30

<県内の感染動向>

1月28日データ

インフルエンザ

山形県内 453人

最上地域 44人

コロナ感染症

山形県内 199人

最上地域 1人

リンゴ病

山形県内 15人

最上地域 7人(警報)



かゆーい

【病児保育登録】

令和8年度、病児保育の登録受付を、3月より開始いたします。病児利用の予約も、引き続き受付いたします。